

空と緑 新呼吸する

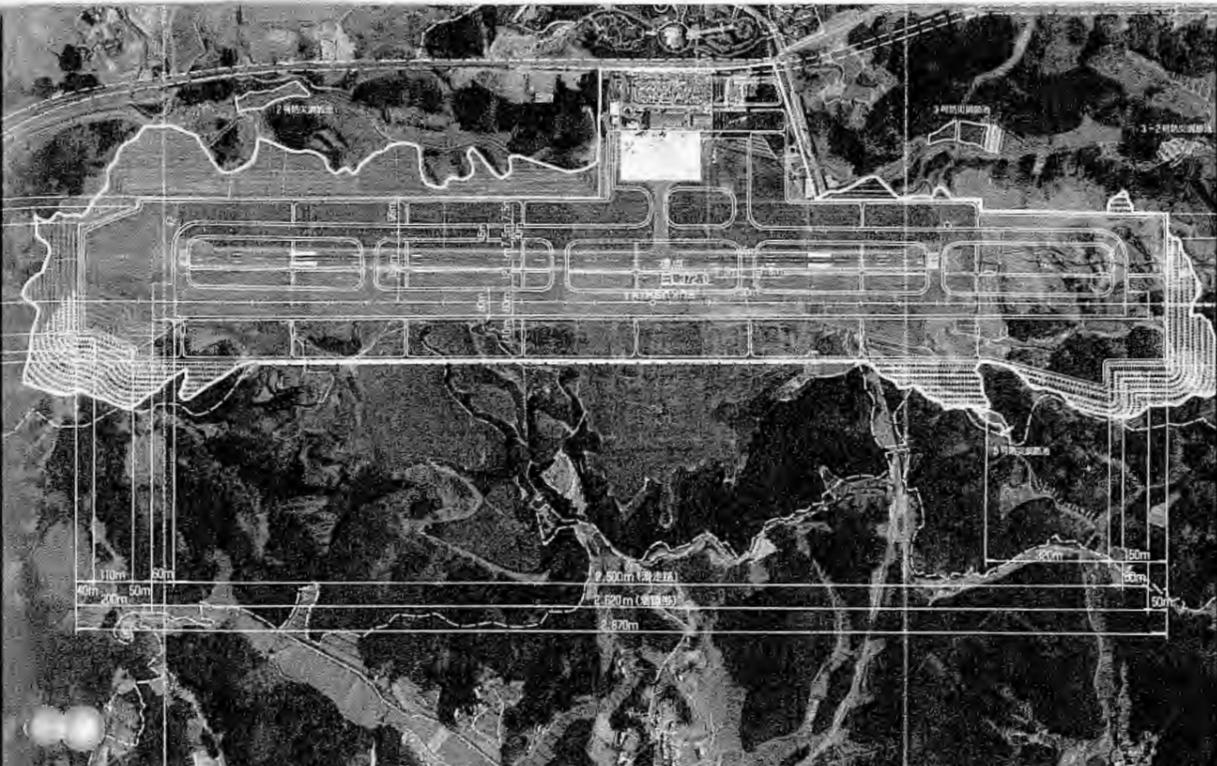
福島民報

たまがわ

'95
12
No. 352

全力
ふく
して
ゴール!!

第7回ふくしま駅伝で最後の力をふりしほりゴールインする、玉川村チームのアンカー我妻広弥選手（山小屋）



福島空港拡張計画平面図

12年度供用目指し、起工式行われる。

11月13日
福島空港の滑走路を現在の2,000メートルから2,500メートルに延長する拡張工事が11月13日に着工。ぬけるような青空の下、福島空港南側（北須釜地内）の工事現場で、安全祈願祭と起工式が行われ、会場を移して祝賀会も開かれました。滑走路延長は、現在の滑走路から西側へ120メートル平行移動した場所に新設され、南側（本村分）に500メートル延長するもので、平成12年度の供用開始に向けて本格的なスタートを切りました。

建設工事共同企業体（鹿島建設・大林組・佐藤工業）による安全祈願祭が空港ターミナル南側高台の工事現場で行われ、運輸省や県、地元の玉川村と須賀川市の関係者約120人が出席。神事では佐藤栄佐久知事、岩村敬運輸省航空局飛行場部長、小針康敬玉川村助役、藤田忠男須賀川市助役がクワ入れし、工事の安全を祈願しました。この後、県による起工式では佐藤知事が「開港後、短期間で拡張工事に着工できたのはみなさんのおかげです。さらに福島空港の将来

構想実現に積極的に取り組み、21世紀の本県の発展の基盤となるよう全力をつくしたい」と式辞を述べ、橋本空港建設事務所長から事業説明がありました。来賓の岩村航空局部長は「2,500メートルが完成すると、人、もの、情報や文化の交流が活発化し、21世紀の高速ネットワークづくりに大きく役立つ」と平沼超夫運輸大臣の祝辞を代読。続いて佐藤知事ら関係者により模擬発破のスイッチが押しされ、発破が点火すると同時に2台のブルドーザーが動き、くす玉も割られて盛大に



福島空港2500メートル滑走路の完成予想図

運航しながら 拡張工事

新しい滑走路は、現在の2,000メートル滑走路の西側に120メートル平行移動、南側に500メートル延長する形で新設され、幅を15メートル広げて60メートルに大型ジェット機が離発着できるようにします。また、ターミナルビル側に平行誘導路も新設されます。工事は、現滑走路で運行を続けながら進められ、新滑走路が完成すると現在の2,000メートル滑走路は取り壊されます。総事業費は約270億円で、今年度は約250万立方メートルの造成工事や、防災調節池3カ所の設置、進入灯橋りょう工用道路の建設などが行われます。

地権者ら 着工祝う

工事現場での起工式の後、須賀川市の翠光苑で、福島空港国際空港化促進協議会による拡張事業の起工祝賀会が開かれ、福島空港地権者会など関係者約300人が出席し、着工を祝いました。同空港国際空港化促進協議会長の高木須賀川市長代理の藤田

忠男助役が「県内の産業、経済、文化などの発展に寄与できるよう3,000メートル級滑走路の実現に向けて取り組みたい」とあいさつ。佐藤知事と山口勇県議会議長から来賓祝辞があり、同協議会副会長の関根清寿平田村長の乾杯の音頭で祝宴に入り、出席者は待望の2,500メートル滑走路着工を祝い合いました。

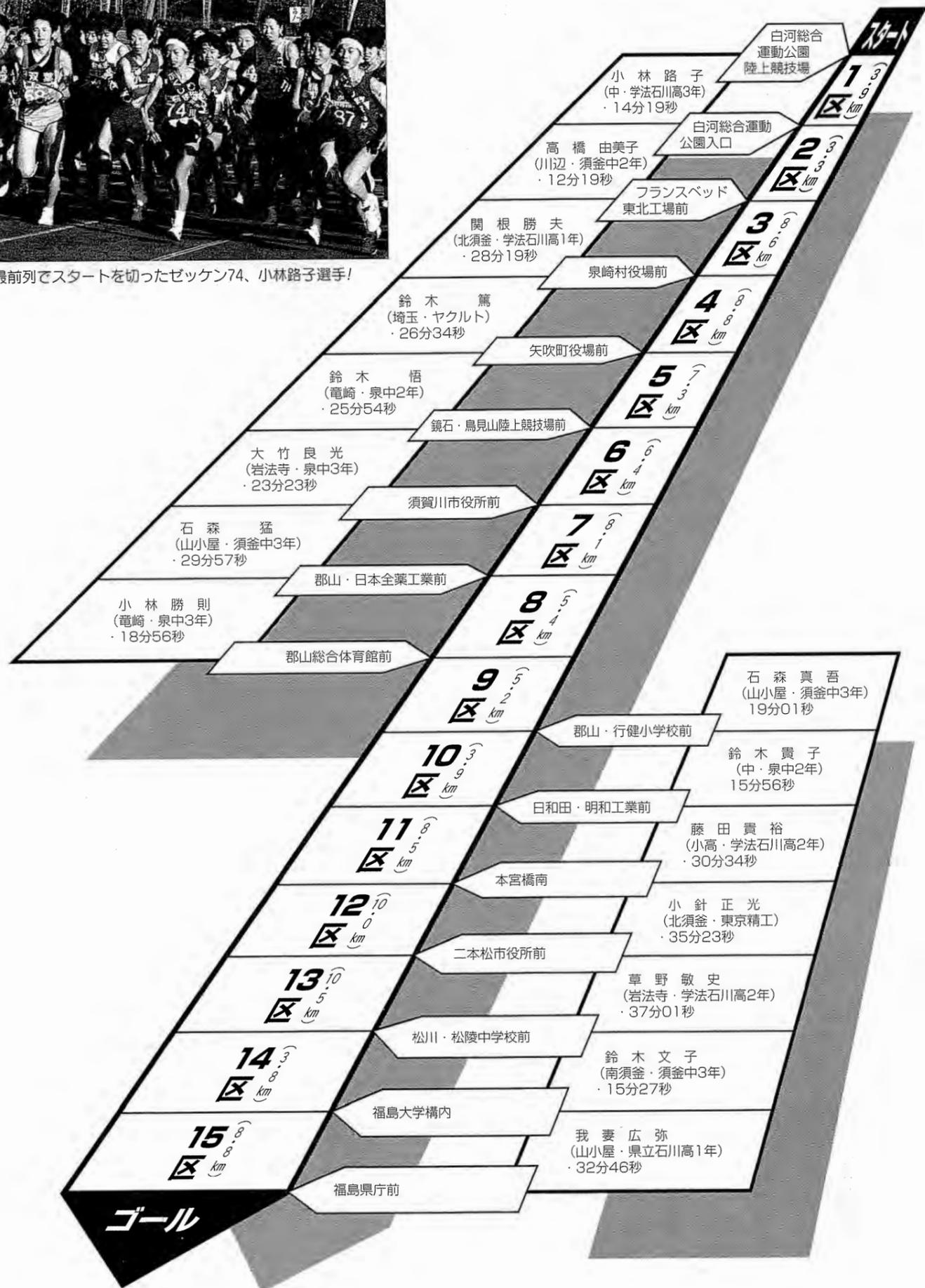


くす玉が割られ、ブルドーザーが動き出して、工事がスタート!!

福島空港		平成17年度	平成22年度
航空旅客数(千人年)	千歳	436	484
	名古屋	212	236
	大阪	562	625
	福岡	212	235
	計	1,422	1,580
航空貨物(t/年)		7,239	8,229



最前列でスタートを切ったゼッケン74、小林路子選手!



解団式であいさつをする 溝井賢一郎監督 (小高)

選手たちの頑張りと皆さんの応援に感謝します

今回のふくしま駅伝大会に際し、皆様には何かとご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

選手たちは8月の結団式以来、週2回の合同練習と自主トレーニングに励み、11月19日の大会に臨みました。74番のゼッケンを胸に全員が力の限り走り、無事102.5キロを完走できたことは、選手たちの頑張り皆様方の暖かいご声援のおかげと感謝しています。本当にありがとうございました。

ふくしま 駅伝

第7回 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

玉川村チーム、善戦及ばず。

村の部14位 / 総合60位

ふるさとへの熱い思いと希望を一本のタスキでつなぐ、第7回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(略称・ふくしま駅伝)が11月19日、白河総合運動公園陸上競技場から福島市の県庁前までの15区間、102.5キロのコースで行われ、県内88市町村が参加し快晴の下健脚を競いました。

玉川村チームは、6時間5分49秒のタイムで総合60位。村の部では14位でした。総合優勝はいわき市で2度目。町の部は船引が2連覇、村の部では飯館が4連覇を達成しています。



レース終了後、玉川村チーム選手団集合。「ごろうさまでした!!」

来年へ、夢をつなぎます!!

力の限り走った! 15人のランナー

年末年始のごみ収集

年末年始のごみ収集は次のとおりです。

■燃えるごみの収集は毎週、火曜日と金曜日に行われていますが、平成7年12月29日(金)と平成8年1月2日(火)の収集は休みます。

■燃えないごみ(危険物)の収集は、泉地区12月25日(月)、須釜地区12月26日(火)に行い、平成8年1月1日(月)と1月2日(火)の収集は休みます。

迷惑をお掛けしますが、ご協力よろしくお願いします!!

募集

たまがわ元気クラブ

★楽しい講習会や、健康学習会、ふれあいを大切にしたいイベントなどの催しを、メンバーの皆さんにお知らせをします。★大勢の仲間とふれあって、素敵なクラブをみんなで作っていきませんか! 申し込みは役場保健課まで。

- 元気をパワーアップしたい人。
- 10歳若返りたいと思っっているあなた。
- もし病気になっても元気に前向きな人生をと考えている人。
- 今よりもっと輝きたいあなた。
- 人とのふれあいを大切にしたい人。

そんな素敵な
みなさんを
大募集中!!



食改だより

「自分の健康は
自分の手で」

「よつばの会」が亘理町の
食生活改善推進員と交流

11月21日、村保健センターで「よつばの会」と宮城県亘理町の食生活改善推進員の交流会が開かれました。

交流会では活動状況を報告後、会員らの手作りによる「カボチャまんじゅう」に舌鼓を打ちながら、活発に意見交換が行われました。

創立30年の歴史を持ち、幅広い活動を展開している亘理町食生活改善推進員(15名)との交流会は、私たち会員に大変有意義な交流となりました。



ありがとうございました。



今年もまた数多くの支援、応援がありました。泉婦人会(吉田和子会長)やよつばの会(双里不二枝会長)の方々や選手たちに食事を振る舞うなど、地域の皆さんによる応援の輪が広がっています。ありがとうございました。

皆さんの暖かい応援

トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—

役場企画調整課
広報係まで



おはらいを受ける除雪車両

万全です!! 雪の備え

11/27 福島空港 除雪安全祈願祭式 / 出発式



関係者に見送られ、場内周回に出発!

雪の季節を前に福島空港・除雪車庫前で、除雪安全祈願祭と除雪車両の出発式が行われました。
式には、空港管理事務所や玉川村、各土木事務所、いしかわ施設敷地管理事業協同組合など除雪関係者が出席。作業の無事故安全を祈願後、芳賀福島空港管理事務所長から城野いしかわ施設敷地管理事業協同組合理事長に除雪車の鍵が手渡され、一台一台おはらいを受けた車両が場内を周回しました。

ママさんハッスル!!

第13回玉川村家庭バレーボール協会長杯大会

玉川村家庭バレーボール協会(会長 大和田宏)長杯争奪戦が、10月18日から11月8日にかけて、村勤労者体育センターなどを会場に行われ、各地区の家庭バレーボール愛好会11チームが出場。ママさんたちが心地良い汗を流していました。決勝リーグの結果は次のとおりです。

- 優勝: 小高チーム
- 準優勝: 中チーム
- 3位: 北須釜チーム



優勝した小高愛好会チームの皆さん

10/19

石津さん、2回目の特選!!

「ふくしま緑の写真コンクール」

県緑化推進委員会などが主催する第10回「ふくしま緑の写真コンクール」で、石津節男さん(中)の『夏の公園』が見事特選に輝きました。「自然、特に緑の季節が好きです。これは須賀川市内の公園で撮ったものです」と語る石津さんは、平成5年の同コンクールでも特選に入賞しています。このコンクールは、緑の大切さを再認識してもらおうと毎年催されており、今回は125人から283点の応募がありました。



車田侑美枝ちゃん(明德・小高)

戸賀慎地くん(安雄・須釜)

虫歯なんかないヨ

第3回よい歯のコンクール

平成7年度第3回目「よい歯のコンクール」表彰式が村保健センターで行われ、3歳児健康診査の「歯科」で虫歯のなかった子ども、2名が表彰されました。よい歯をしているのは写真の子どもたちです。()は保護者名と地区名



特選の作品と石津さん(円内)

村内で働く優良従業員たたえる

11/23

平成7年度優良従業員表彰式

勤労感謝の日に村就業改善センターで、村商工会主催の平成7年度優良従業員表彰式が行われ、受賞者26人に古寺福喜村商工会長から表彰状と記念品が手渡され、来賓の車田村長と宗形徳次村議会産業建設常任委員長から祝辞がありました。
また、式終了後には「迷いについて」と題して、妙法寺住職、鈴木務広氏の記念講演も行われ、受賞者らは熱心に耳を傾けていました。



事業所名	氏名
(株)山ゴム福島工場	荒牧勇二
こうじ屋食堂	塩沢カツヨ
駒木根工業(株)	鈴木栄吉
近藤幸夫	近藤幸夫
南條玲子	南條玲子
塩澤千津子	塩澤千津子
(須釜鉄筋工業所)	須釜信好
東京精工(株)	瀬谷雅威
遠藤信嘉	遠藤信嘉
戸賀利政	戸賀利政
大和田正信	大和田正信
関根正一	関根正一
草野直幸	草野直幸
有賀英子	有賀英子
大野誠治	大野誠治
浅倉竹三	浅倉竹三
榎紀幸	榎紀幸
(株)福島エンヤ	佐久間貴義
福島富士(株)	草野八重子
渡辺キミ子	渡辺キミ子
増子美保子	増子美保子
宗形一夫	宗形一夫
小林ヨシエ	小林ヨシエ
佐久間すみ子	佐久間すみ子
双葉産業	榊枝正子

大野さん、囲碁で東北大会優勝!!

11/10

東北地区高校囲碁選手権大会

青森県八戸市のはちのへイツで開かれた第9回東北地区高等学校囲碁選手権大会に、南須釜の大野久美子さん(県立須賀川桐陽高校2年)が福島県・女子の代表チーム(3人)の一員として参加し、見事優勝を果たしました。さらに「三将」戦の部でも全勝し、優秀選手賞を獲得しています。
この大会には、東北各県から男女各1チーム(主将、副将、三将の3人で構成)ずつ計12チーム36人が出場。盤上の熱戦を展開しました。
また、同地区の塩沢裕史君(須賀川高校2年)も男子チーム副将で出場し、チーム、個人戦とも準優勝に輝き、玉川つ子さんの活躍が大いに目立った大会でした。



すばらしい成績を残した大野さん(自宅にて)

ゴールに向かって完走します!!

11/14

第17回須釜中学校非行防止校内マラソン大会

須釜中学校(田中孝平校長)と須釜地区防犯協会(境田孝意会長)主催の非行防止校内マラソン大会が開かれ、全校生徒130人が参加しました。

この大会は、長距離を走りぬくことで、たくましい体力と我慢強い心を養うことを目的に開催され、石川警察署などが後援しています。

おもな入賞者は次のとおりです。

(敬称略)

- 男子の部【4.2km】
- 1位 石森 猛(3年)
- 2位 石森 真吾(3年)
- 3位 相楽 薫(3年)
- 4位 大越 強(1年)
- 5位 真野目雄治(2年)
- 女子の部【2.7km】
- 1位 高橋由美子(2年)
- 2位 鈴木 文子(3年)
- 3位 有賀 利絵(3年)
- 4位 榊枝由紀子(2年)
- 5位 石森美由紀(2年)



「お仕事ごろうさまです!!」(11/22 役場にていずみ幼稚園児)

12月の健康ごよみ

- 20日(水) 母親教室 保
午前9時15分～9時30分 受
育児教室 保
午後1時～1時30分 受
21日(木) 成人病予防教室 須公
午前9時30分～12時 公
22日(金) 1歳6ヶ月児健診 保
午後1時30分～2時 受
保:保健センター 須公:須釜公民館 受:受付時間

伝言板

新春恒例村民囲碁・将棋大会

村民囲碁・将棋大会を次により開催します。
新春を囲碁と将棋で楽しみませんか。

- 月日 平成8年1月28日(日)
- 場所 村就業改善センター
- 参加費 500円
- 申込期限 1月10日(水)
- 詳しくは村公民館まで



参加者
募集中!

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

記

- 川辺の矢部吉広さんから 2万円
- 南須釜の円谷房吉さんから 3万円
- の和氣利雄さんから 1万円
- 吉の境田孝意さんから 10万円
- 四辻新田の塩田豊さんから 3万円
- の渡辺由三さんから 1万円
- 村長杯ゴルフコンペ実行委員長、松田功さんから 87,736円 (村社会福祉協議会)

どちらにも参加者の方は村内に居住する方です。

スキー教室開催!

- ★月日 平成8年2月4日(日)
- ★場所 磐梯国際スキー場
- ★定員 50名



※申込期限
1月10日(水)

★詳しくは村公民館まで

武道池の白鳥!! えさ集めに ご協力下さい。

連絡先:
「武道池の白鳥を守る会」
会長(小針康成)宅
☎57-3527まで

お誕生おめでとうございます

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	坂本 渚	輝 雄
中	吉田 瑞穂	明
岩法寺	佐伯 拓哉	法 三
〃	金澤 愛梨	博 幸
南須釜	大野 祐希	政 幸
〃	阿部 恵	秀 幸
〃	塩澤 理人	理 博
〃	大野 志乃美	博 良

おくやみ申し上げます

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川辺	矢部 吉富	74	吉 広
岩法寺	溝井 三四三	73	三四三
南須釜	圓谷 房次	93	房 夫
吉	境田 ウメ	89	孝 意
四辻新田	塩田 實	84	豊
〃	渡邊 由松	91	由 三

村のようす

(7年11月1日現在)

- 1,764戸(±0)
- 7,711人(+5)
- 3,809人(+5)
- 3,902人(±0)

今月の納税

固定資産税 3期分
国民健康保険税 6期分
国民年金 12月分
国民年金 12月分
【納期限は12月25日(日)です。忘れずに納めましょう。】

玉川村短歌会佳作抄

朝焼けの一刷毛の雲の輝きを染めて着せし孫の晴れ着に
生繁る芒にまじり吾木香深紅の花が風に起き伏す
夕冷えの厨に下りて子らのためまつ前漬けの人参きざむ

真弓はん
小針登里

薄井はなよ
柳沼ツヤ

幾年目か無縁仏の墓標朽ちこぼれ敷きたり山萩の花

村公民館

蛇の目傘時雨の日にはさきさんかな今でも待ってる下駄箱の隅
麓より絶間もあらず落ちつぐる雨は水琴窟調べをもちり

真弓五三男
小針守次

戦争の悲惨なるさま孫らにも語りてゆかん平和の世には

教育資金

かしこく借りて、しっかり学ぶ 国の教育ローン

利用いただける方	融資金額	利率	融資期間	使いみち	返済方法	保証	申込窓口
次の学校に入学、在学される方の保護者又は本人 ●高校、高等専門学校 ●短大、大学、大学院 ●専修学校、各種学校、予備校(許可されたもの) ●盲学校、聾学校、養護学校の高等部など ●外国の高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、大学院(6カ月以上の留学に限り可) ●その他就業能力開発校などの教育施設 中学校卒業以上で修業年限が6カ月以上の教育施設に限り可。	学生・生徒一人につき150万円以内	年3.25%(平成7年11月10日現在)	8年以内(在学期間内で元金返還可能。但し、最長4年) 交通通院家庭はまたは母子家庭は1年の延長可可能	1. 入学時に必要な費用(入学時学校納付金、受給のための費用、その他入学のために必要な費用) 2. 在学中に必要な費用(授業料等学校給付金、下宿代等住居にかかる費用、通学に必要な交通費)	元利均等毎月払い(ボーナス併用返済、ステップ返済、半年賦・年賦返済も可能)	(財)教育資金融資保証基金または保証人1名以上	郡山市清水台1丁目6番21号 国民金融公庫 郡山支店 ☎0249(23)7140

■年金福祉事業団の教育資金貸付
この貸付制度は、年金積立金を原資とした還元融資の一環として、厚生年金保険及び国民年金に10年以上加入している方が入学時や在学中の教育費を低利で借りることができる制度です。

また、この貸付は、前項の国民金融公庫の一般教育ローンとの併用もできます。

- ◆融資金額 学生・生徒一人につき
●厚生年金保険加入中の方 100万円以内
●国民年金加入中の方 50万円以内
- ◆融資利率 年3.25%(平成7年11月11日現在)
- ◆返済期間 8年以内(据置期間は在学期間内で最長4年)
- ◆お申し込み・問い合わせ先 (社)福島県年金福祉協会 ☎0248(22)2611

募集

平成8年度泉保育所 入所希望者を募集

- 次により平成8年度に泉保育所へ入所希望する幼児を募集します。
- ◆対象児と募集定員 満1歳以上から小学校就学前の幼児、80人。
 - ◆保育時間 午前8時30分から午後5時まで。
 - ◆入所基準 幼児の保護者、特に母親が就労、病気などの理由で保育することができず、更に同居している人も保育にあたることのできない場合。
 - ◆保育料 所得税などの課税額により決められます。
 - ◆申請期間 平成7年1月5日(金)から1月19日(金)まで。
 - ◆申請場所 玉川村役場住民課
 - ◆持参品 就労証明、印かん、保険証
 - ◆注意事項 引き続き入所を希望する場合も申請が必要です。詳しくは、役場住民課福祉係 ☎57-3101内線27番まで。

いずみすがま幼稚園児を募集

- 平成8年度に入園する玉川村立いずみ、すがま両幼稚園の園児を募集します。
- ◆対象児と募集定員 【いずみ幼稚園】 玉川村内に住んでいる平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた幼児、120人。
【すがま幼稚園】 玉川村内に住んでいる平成2年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた幼児、100人。
 - ◆申し込み期間 平成8年1月10日(水)から1月24日(水)まで。
 - ◆申し込み方法 幼稚園にある入園願書に必要事項を記入して、各幼稚園に申し込んで下さい。
 - ◆その他 印かんが必要ですから必ず持参してください。
※現在、すがま幼稚園に入園している園児(4歳児)が引き続き入園する場合は、申し込みの必要はありません。
詳しくは、村教育委員会 ☎57-3101内線63番まで。

平成7年度自衛隊生徒募集

“平和を愛する人が欲しい。”

3年間の教育終了時には、高等学校の卒業資格が得られる自衛隊生徒を次により募集しています。

- ◆受付期間 平成7年11月1日～平成8年1月4日
 - ◆試験 1次 平成8年1月6日(土)
 - ◆応募資格 中学校卒業(見込み含む)の方で平成8年4月1日に15歳以上17歳未満の男子
- 詳しくは、自衛隊郡山募集事務所 ☎0249-32-1424へお問い合わせを。



思い出のアルバム ③⑩

「合同演習もあつた 青年学校」

この写真は、川辺の須藤利治さん(76歳、写真最後列右から2番目)から提供されたもので、旧泉村・川辺青年学校の校旗ができた時の記念の写真で、昭和12年頃だそうです。「この旗は、鈴木良子先生(現姓、矢吹)の親、鈴木四郎(故人)っていう人が寄付してくれた物で、それまではなかった」と利治さん。

昭和7年に一部増築された旧川辺尋常小学校々庭で写っている方々は、最前列右端が熊田直政氏(78歳)で、その左側は故味原清寿さん(川辺、味原勇一氏の叔父)更に須藤正男氏(77歳)と続き、校旗を挟んで左側は故鈴木代三郎さん(代吉氏の父)で、小針金一氏(78歳。前列左端)の顔も見えます。旗の右横に当時の村長、故矢部欣治さん(欣一氏の祖父)がおり、左横には狸森出身の故関根久校長がいますが、とても勇ましい人だったそうです。「二十歳前の若い盛りで、週一回(半日)の登校は結構楽しかった」と語る利治さん。

青年学校は、終戦と共に自然消滅したそうです。

たまかわの皆さん お元気ですか

—東京玉川会員だより—

『ふるさとの心にしみる延命水』

東京都練馬区 関根タツ子さん(岩法寺出身)



冬の木枯らしが吹く師走の月となりましたが、玉川村の皆さんいかがお過ごしでしょうか。今年には阪神大震災から始まり、世の中を不安にさせる大きな事件が相次いで発生しました。今年も一年が終わろうとしています。

毎月送られてくる「広報たまかわ」を隅から隅まで読むのがとても楽しみで、空と緑が大きく深呼吸する、誇り高き玉川村が私の故郷であることを幸せに思っております。

空港にゆく道路から少し離れた場所の山すそに湧き出る「天然ミネラルウォーター」はとても美味いのです。夏に帰省した際、ボトルに何本も汲んで持ち

私に住む練馬区は芝の畑が多いのですが、最近畑の中に高層マンションが建ち競っています。ここから埼玉県の秩父方面が近く、手軽にハイキングに出かけ四季折々の自然を楽しんだり、友達同志で秩父札所巡りをしています。札所巡りは何年もかけて一番から三十三番まで歩き、あと一ヶ所を残すだけとなり、来年の新緑の頃に行こうと思っています。

最後になりましたが、皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。